

## 第4章 配偶関係

### 4-1 全国の15歳以上人口の配偶関係

#### <配偶関係>

#### 男性で高い未婚の割合，女性で高い死別の割合

平成22年国勢調査による15歳以上人口（男性5315万5千人，女性5712万3千人）を配偶関係別にみると，未婚は男性が1663万9千人，女性が1309万人，有配偶は男性が3185万9千人，女性が3192万7千人，死別は男性が160万8千人，女性が780万1千人，離別は男性が199万9千人，女性が328万3千人となっている。

15歳以上の男性に占める未婚の割合（31.9%）は女性に占める未婚の割合（23.3%）より高くなっている。これは，一般に男性が女性に比べ初婚年齢が高く，若年層の未婚者が多いことなどによる。

一方，15歳以上の男性に占める死別の割合（3.1%）に対し，女性に占める死別の割合（13.9%）は大幅に高くなっている。これは，一般に妻の年齢が夫に比べ低いことに加え，女性の平均寿命が男性に比べ長いことなどによる。

（図4-1，表4-1，表4-2）

図4-1 男女，配偶関係別15歳以上人口の割合—全国（平成22年）

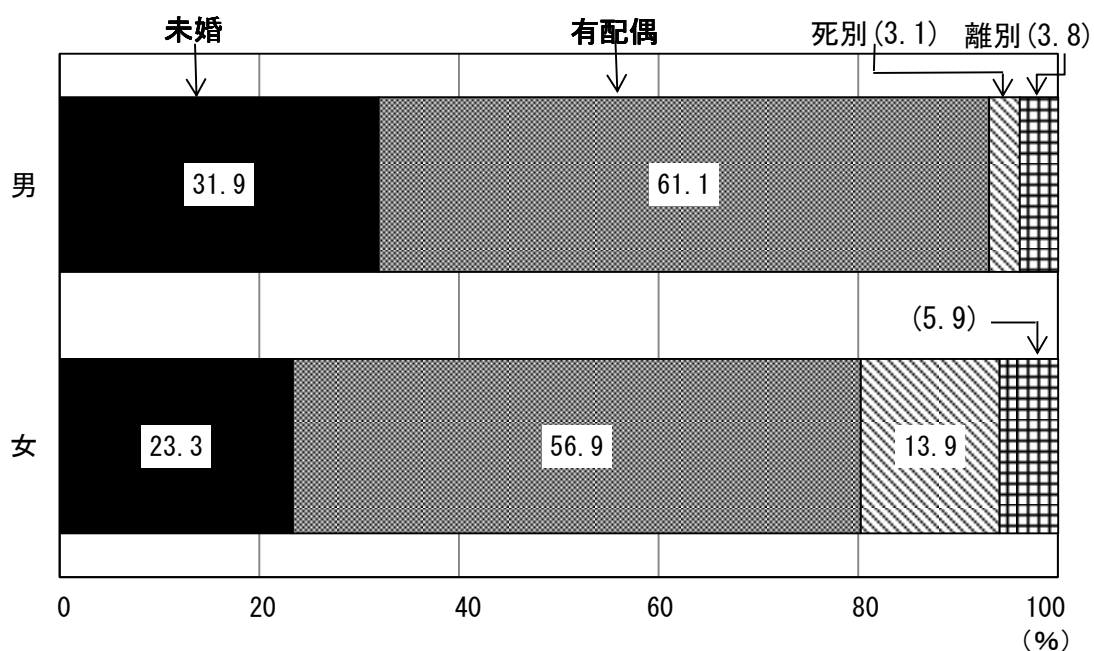


表4-1 男女、配偶関係別15歳以上人口及び割合の推移—全国（平成12年～22年）

男女、 配偶関係	実数（千人）			割合（%）		
	平成12年	17年	22年	平成12年	17年	22年
総数	108,225	109,764	110,277	100.0	100.0	100.0
未婚	29,881	29,833	29,730	27.9	27.5	27.5
有配偶	64,884	64,583	63,786	60.5	59.6	58.9
死別	8,630	9,176	9,409	8.0	8.5	8.7
離別	3,845	4,701	5,283	3.6	4.3	4.9
不詳	985	1,472	2,071	-	-	-
男	52,503	53,086	53,155	100.0	100.0	100.0
未婚	16,680	16,686	16,639	32.1	32.0	31.9
有配偶	32,448	32,260	31,859	62.5	61.8	61.1
死別	1,397	1,515	1,608	2.7	2.9	3.1
離別	1,418	1,744	1,999	2.7	3.3	3.8
不詳	560	880	1,049	-	-	-
女	55,721	56,679	57,123	100.0	100.0	100.0
未婚	13,201	13,147	13,090	23.9	23.4	23.3
有配偶	32,435	32,323	31,927	58.7	57.6	56.9
死別	7,233	7,660	7,801	13.1	13.7	13.9
離別	2,428	2,957	3,283	4.4	5.3	5.9
不詳	425	592	1,022	-	-	-

表4-2 平均婚姻年齢及び夫妻の年齢差の推移—全国（昭和45年～平成22年）

年次	全 婚 姻		初 婚		年 齢 差	
	夫	妻	夫	妻	全 婚 姻	初 婚
昭和 45年 (1970)	27.6	24.6	26.9	24.2	3.0	2.7
50年 (1975)	27.8	25.2	27.0	24.7	2.6	2.3
55年 (1980)	28.7	25.9	27.8	25.2	2.8	2.6
60年 (1985)	29.3	26.4	28.2	25.5	2.9	2.7
平成 2年 (1990)	29.7	26.9	28.4	25.9	2.8	2.5
7年 (1995)	29.8	27.3	28.5	26.3	2.5	2.2
12年 (2000)	30.4	28.2	28.8	27.0	2.2	1.8
17年 (2005)	31.7	29.4	29.8	28.0	2.3	1.8
22年 (2010)	32.5	30.3	30.5	28.8	2.2	1.7

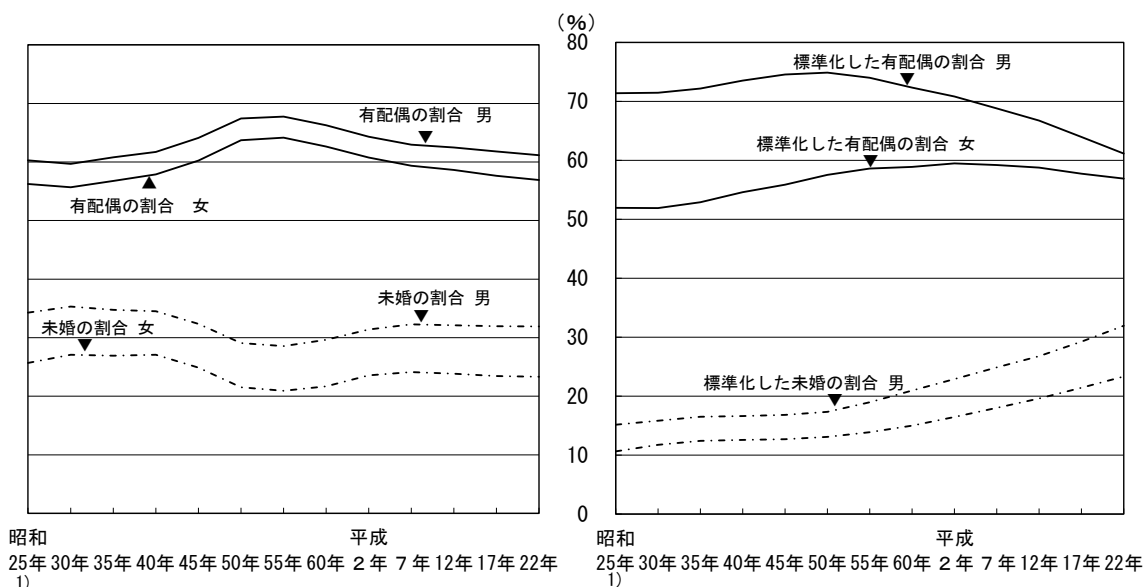
資料：厚生労働省「人口動態統計」による。

## 年齢構成の変化の影響を除去すると、未婚の割合は上昇傾向

15歳以上人口の配偶関係別割合の推移をみると、男女共に、未婚の割合は平成12年以降低下し、有配偶の割合は昭和60年以降低下している。死別の割合は昭和55年以降横ばい傾向にあったが、平成7年以降は上昇している。また、離別の割合は、昭和50年までおおむね横ばいとなっているが、離婚件数の増加を反映し、55年以降は上昇している。

配偶関係別割合の変化には、配偶関係そのものの変化のほかに、調査時点の年齢構成の変化の影響も含まれる。そこで、年齢構成の変化による影響を取り除くため、各年の我が国の人口が平成22年の年齢構成と同じであったと仮定して標準化<sup>i</sup>した配偶関係別割合をみると、未婚の割合は男女共に、昭和50年以降大幅に上昇しており、有配偶の割合は、男性は昭和50年（74.9%）、女性は平成2年（59.5%）以降低下している。また、男女共に死別の割合は昭和25年以降低下傾向、離別の割合は昭和55年以降上昇傾向である。（図4-2、表4-3、表4-4）

図4-2 男女、配偶関係別15歳以上人口の割合の推移—全国（昭和25年～平成22年）



1) 沖縄県の本土籍の日本人及び外国人を除いて算出。

表4-3 婚姻件数及び離婚件数の推移—全国（昭和25年～平成22年）

項目	(千件)									
	昭和25年 (1950)	35年 (1960)	45年 (1970)	55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	22年 (2010)
婚姻件数	715	866	1,029	775	736	722	792	798	714	700
離婚件数	84	69	96	142	167	158	199	264	262	251

資料：厚生労働省「人口動態統計」による。

<sup>i</sup> トピックス（122ページ）参照。

表4-4 男女、配偶関係別15歳以上人口の割合の推移—全国（大正9年～平成22年）

男女、年次	割合				標準化割合			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
(%)								
男								
大正 9年 (1920)	29.3	62.9	6.0	1.9	14.1	69.8	14.1	2.0
14年 (1925)	30.0	62.6	5.7	1.8	13.7	70.3	14.1	1.9
昭和 5年 (1930)	32.3	60.9	5.4	1.4	14.6	69.8	14.0	1.6
10年 (1935)	33.2	60.1	5.4	1.4	15.3	69.3	13.8	1.6
15年 (1940) <sup>1)</sup>	35.0	58.7	6.3 <sup>3)</sup>		16.4	68.6	14.9 <sup>3)</sup>	
25年 (1950) <sup>2)</sup>	34.3	60.3	4.6	0.9	15.2	71.4	12.4	1.0
30年 (1955)	35.3	59.7	4.1	0.9	15.9	71.5	11.5	1.1
35年 (1960)	34.8	60.8	3.5	0.9	16.5	72.2	10.1	1.2
40年 (1965)	34.5	61.7	3.0	0.8	16.6	73.5	8.8	1.0
45年 (1970)	32.4	64.1	2.7	0.8	16.8	74.5	7.6	1.1
50年 (1975)	29.1	67.4	2.6	0.9	17.3	74.9	6.7	1.1
55年 (1980)	28.6	67.8	2.4	1.2	19.0	74.0	5.7	1.3
60年 (1985)	29.6	66.3	2.4	1.6	20.9	72.3	5.0	1.7
平成 2年 (1990)	31.4	64.3	2.4	1.9	22.9	70.8	4.4	1.9
7年 (1995)	32.3	63.0	2.5	2.2	24.9	68.8	4.0	2.3
12年 (2000)	32.1	62.5	2.7	2.7	26.8	66.7	3.7	2.8
17年 (2005)	32.0	61.8	2.9	3.3	29.2	64.0	3.4	3.4
22年 (2010)	31.9	61.1	3.1	3.8	31.9	61.1	3.1	3.8
女								
大正 9年 (1920)	18.7	63.1	15.8	2.4	8.2	55.1	34.5	2.2
14年 (1925)	19.1	63.0	15.6	2.3	7.8	55.1	35.0	2.2
昭和 5年 (1930)	21.2	61.4	15.5	1.9	8.5	54.5	35.1	1.8
10年 (1935)	22.6	60.2	15.4	1.8	9.3	53.9	35.0	1.8
15年 (1940) <sup>1)</sup>	24.9	58.2	17.0 <sup>3)</sup>		10.2	53.1	36.6 <sup>3)</sup>	
25年 (1950) <sup>2)</sup>	25.7	56.2	16.1	1.9	10.6	51.9	35.6	1.9
30年 (1955)	27.1	55.7	15.2	2.0	11.8	51.9	34.4	2.0
35年 (1960)	26.9	56.8	14.2	2.1	12.4	52.9	32.4	2.3
40年 (1965)	27.1	57.9	13.1	1.9	12.6	54.6	30.7	2.1
45年 (1970)	24.9	60.2	12.8	2.1	12.7	55.9	29.1	2.3
50年 (1975)	21.5	63.7	12.7	2.1	13.1	57.5	27.2	2.2
55年 (1980)	20.9	64.2	12.4	2.5	13.9	58.6	24.9	2.6
60年 (1985)	21.7	62.6	12.7	3.0	15.0	58.9	23.1	3.0
平成 2年 (1990)	23.6	60.7	12.4	3.3	16.5	59.5	20.7	3.3
7年 (1995)	24.1	59.4	12.8	3.7	18.0	59.2	19.1	3.7
12年 (2000)	23.9	58.7	13.1	4.4	19.6	58.7	17.2	4.4
17年 (2005)	23.4	57.6	13.7	5.3	21.4	57.7	15.5	5.3
22年 (2010)	23.3	56.9	13.9	5.9	23.3	56.9	13.9	5.9

(注) 標準化割合は、平成22年の全国の男女、年齢（5歳階級）別15歳以上人口を標準人口として計算した。すなわち、15歳以上人口の年齢構成が仮に平成22年の年齢構成と同じであったとした場合に、配偶関係別割合がどうなるかを計算したものである。

標準化した配偶関係別割合  $m^{t'}$  は次式によって求められる。

$$m^{t'} = \frac{\sum_{i=1}^n m_i^t \times P_i^{22}}{\sum_{i=1}^n P_i^{22}}$$

$m_i^t$  :  $t$ 年における年齢階級  $i$  の配偶関係別割合

$P_i^{22}$  : 平成22年国勢調査時点における年齢階級  $i$  の人口

- 1) 日本人のみの「全人口」を基に算出。
- 2) 沖縄県の本土籍の日本人及び外国人を除いて算出。
- 3) 配偶関係「死別」及び「離別」の合計。

## <年齢階級別配偶関係>

### 25～29歳女性の未婚の割合は6割を上回る

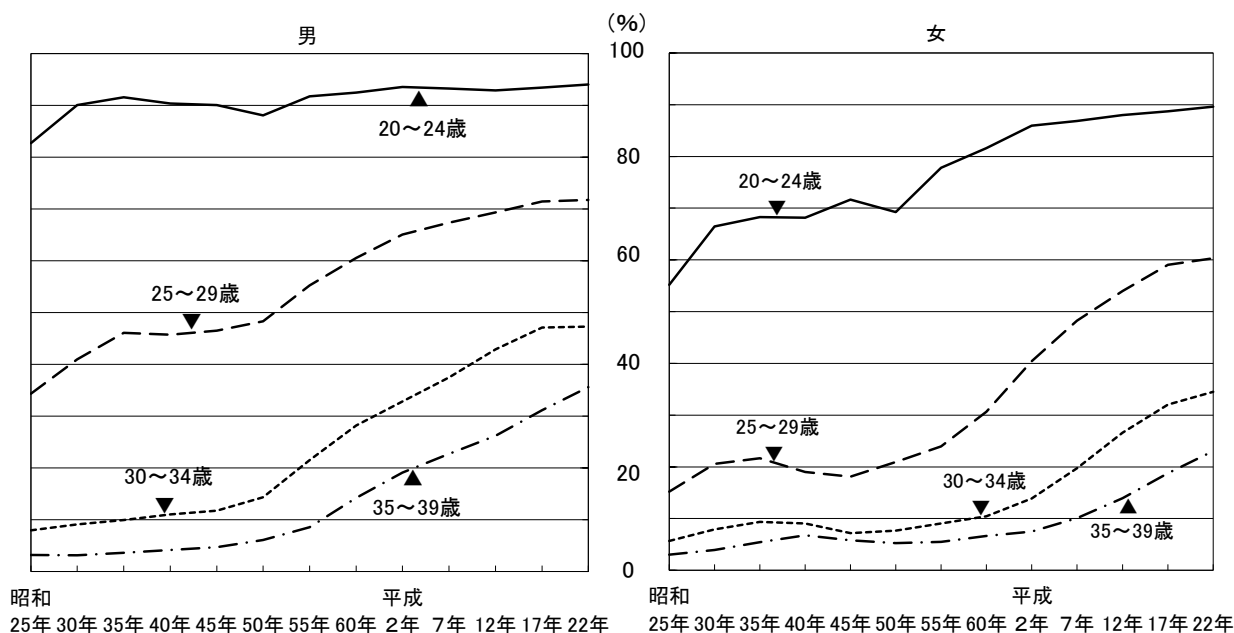
20歳から39歳までの未婚の割合の推移を年齢5歳階級別にみると、昭和50年頃から、全年齢階級で大幅に上昇している。特に、女性は、25～29歳では平成2年から12年までに13.6ポイント、12年から22年までに6.3ポイント上昇し、上昇幅は縮小しているものの、22年には60.3%と、昭和25年以降初めて6割を上回っている。30～34歳では平成2年から12年までに12.7ポイント、12年から22年までに7.9ポイント上昇し、上昇幅は縮小しているものの、22年には34.5%と3人に1人となっている。

男性も、女性と同様に上昇しており、25～29歳では平成2年の65.1%から22年には71.8%に、30～34歳でも32.8%から47.3%になっている。(図4-3, 表4-5)

### 70歳未満の各年齢階級で女性より高い男性の未婚の割合

平成22年について未婚の割合を年齢5歳階級別にみると、男女共に年齢が上がるにつれて低くなっている。男性は、20～24歳の94.0%から、25～29歳では71.8%、30～34歳では47.3%へと低くなっている。女性も、20～24歳の89.6%から、25～29歳では60.3%、30～34歳では34.5%へと低くなっている。また、男性と女性の未婚の割合を比べると、70歳未満の各年齢階級では男性の方が高くなっている。(図4-4, 表4-7)

図4-3 20歳から39歳までの男女、年齢(5歳階級)別未婚の割合の推移  
—全国(昭和25年～平成22年)



### 有配偶の割合は40～44歳を中心に低下傾向

有配偶の割合を年齢5歳階級別に平成12年と比べると、未婚の割合の上昇とは逆に、男女共に40～44歳を中心に低下している。男性では、40～44歳で77.3%から66.4%へ10.9ポイント、35～39歳で70.6%から60.8%へ9.8ポイントとそれぞれ低下するなど、30歳から69歳までの各年齢階級で3ポイントを上回る低下となっている。また、女性も、40～44歳で83.9%から73.2%へ10.7ポイント、35～39歳で79.9%から69.8%へ10.1ポイントとそれぞれ低下するなど、25歳から54歳までの各年齢階級で3ポイントを上回る低下となっている。(図4-4, 表4-7)

### 有配偶の割合が未婚の割合を上回るのは男女共に30～34歳の年齢階級

未婚の割合と有配偶の割合を比べると、男女共に有配偶の割合が未婚の割合を上回るのは30歳以上の年齢階級となっており、男性の25～29歳の未婚の割合は71.8%、有配偶の割合は27.1%、30～34歳の未婚の割合は47.3%、有配偶の割合は50.4%となっている。また、女性の25～29歳の未婚の割合は60.3%、有配偶の割合は37.1%、30～34歳の未婚の割合は34.5%、有配偶の割合は60.8%となっている。また、各歳で見ると、有配偶の割合が未婚の割合を超える年齢は男性が32歳、女性が29歳となっている。

(図4-4, 図4-5, 表4-7, 表4-8)

### 有配偶の割合のピークは男性が70～74歳、女性が55～59歳

有配偶の割合を年齢5歳階級別にみると、男性は70～74歳の84.8%、女性は55～59歳の79.1%をピークとした「山型」となっている。これは、若い年齢階級では未婚者が多く、75歳以上の年齢層では死別者が多くなるためである。有配偶の割合を男性と女性で比べると、60歳未満の各年齢階級では女性の方が男性より高く、60歳以上の各年齢階級では逆に男性の方が高くなっている。

なお、60歳以上の女性の有配偶の割合は、各年齢階級で上昇しているが、これは男性の平均余命が延びたことにより死別の割合が低下したことなどによる。

(図4-4, 表4-6, 表4-7)

表4-5 20歳から39歳までの男女、年齢(5歳階級)別未婚の割合の推移  
—全国(昭和25年～平成22年) (%)

年次	男				女			
	20～24歳	25～29	30～34	35～39	20～24歳	25～29	30～34	35～39
昭和25年(1950)	82.7	34.3	8.0	3.2	55.2	15.2	5.7	3.0
30年(1955)	90.1	41.0	9.1	3.1	66.4	20.6	7.9	3.9
35年(1960)	91.6	46.1	9.9	3.6	68.3	21.7	9.4	5.5
40年(1965)	90.4	45.7	11.1	4.2	68.1	19.0	9.0	6.8
45年(1970)	90.1	46.5	11.7	4.7	71.7	18.1	7.2	5.8
50年(1975)	88.1	48.3	14.3	6.1	69.3	20.9	7.7	5.3
55年(1980)	91.8	55.2	21.5	8.5	77.8	24.0	9.1	5.5
60年(1985)	92.5	60.6	28.2	14.2	81.6	30.6	10.4	6.6
平成2年(1990)	93.6	65.1	32.8	19.1	86.0	40.4	13.9	7.5
7年(1995)	93.3	67.4	37.5	22.7	86.8	48.2	19.7	10.1
12年(2000)	92.9	69.4	42.9	26.2	88.0	54.0	26.6	13.9
17年(2005)	93.5	71.4	47.1	31.2	88.7	59.1	32.0	18.7
22年(2010)	94.0	71.8	47.3	35.6	89.6	60.3	34.5	23.1

表 4-6 男女，年齢別平均余命の推移—全国（昭和 45 年～22 年）

（単位：年）

年次	男						女					
	0 歳	20	40	65	75	90	0 歳	20	40	65	75	90
昭和 45 年 (1970)	69.31	51.26	32.68	12.50	7.14	2.75	74.66	56.11	37.01	15.34	8.70	3.26
50 年 (1975)	71.73	53.27	34.41	13.72	7.85	3.05	76.89	58.04	38.76	16.56	9.47	3.39
55 年 (1980)	73.35	54.56	35.52	14.56	8.34	3.17	78.76	59.66	40.23	17.68	10.24	3.55
60 年 (1985)	74.78	55.74	36.63	15.52	8.93	3.28	80.48	61.20	41.72	18.94	11.19	3.82
平成 2 年 (1990)	75.92	56.77	37.58	16.22	9.50	3.51	81.90	62.54	43.00	20.03	12.06	4.18
7 年 (1995)	76.38	57.16	37.96	16.48	9.81	3.58	82.85	63.46	43.91	20.94	12.88	4.64
	(76.46)	(57.22)	(38.00)	(16.50)	(9.82)	(3.58)	(82.96)	(63.55)	(43.98)	(20.98)	(12.90)	(4.65)
12 年 (2000)	77.72	58.33	39.13	17.54	10.75	4.10	84.60	65.08	45.52	22.42	14.19	5.29
17 年 (2005)	78.56	59.08	39.86	18.13	11.07	4.15	85.52	65.93	46.38	23.19	14.83	5.53
22 年 (2010)	79.55	59.99	40.73	18.74	11.45	4.19	86.30	66.67	47.08	23.80	15.27	5.53

資料：厚生労働省「完全生命表」による。

（注）平成 7 年（ ）内の数値は、阪神・淡路大震災の影響を除去した値である。

図 4-4 男女，年齢（5 歳階級），配偶関係別 15 歳以上人口の割合の推移—全国（平成 2 年，12 年，22 年）

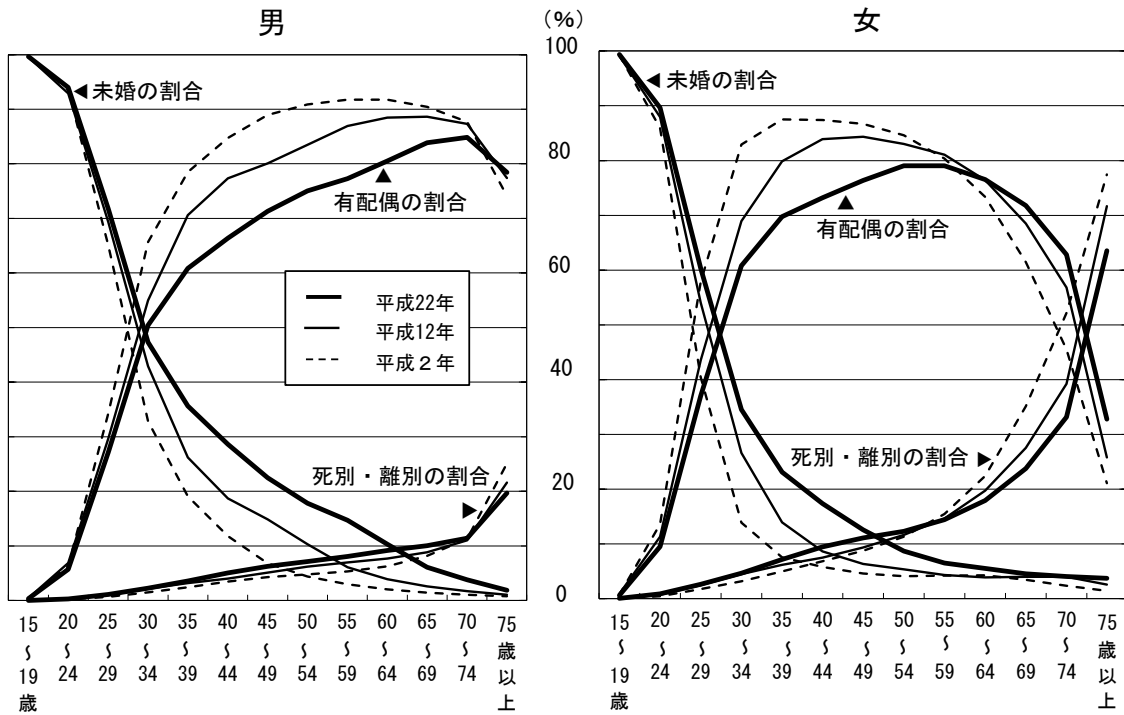


図 4-5 25 歳から 34 歳までの男女，年齢（各歳），配偶関係別人口の割合—全国（平成 22 年）

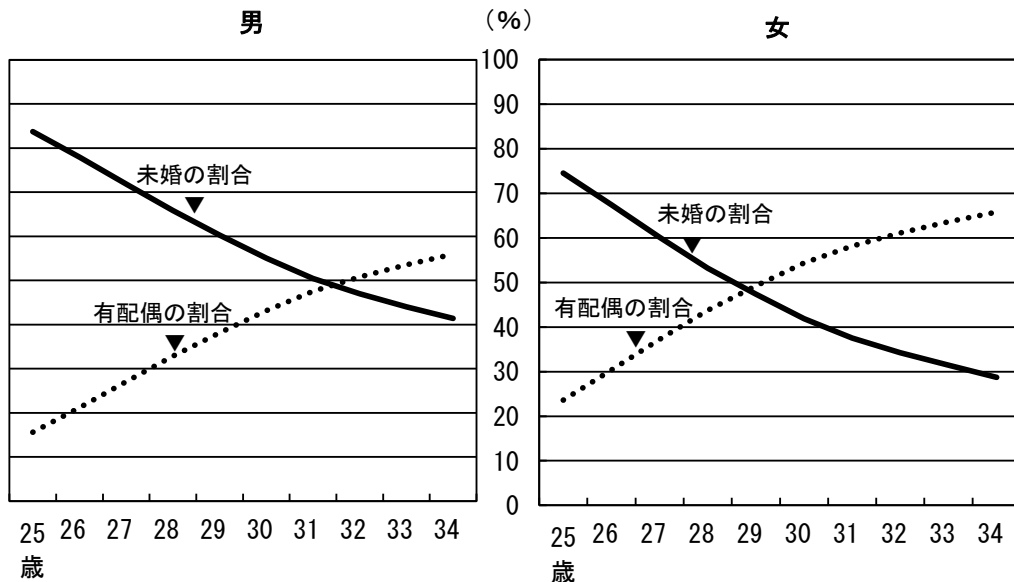


表4-7 男女，年齢（5歳階級），配偶関係別15歳以上人口の割合の推移  
—全国（平成2年，12年，22年）

男女，年齢	割合（%）									差					
	未婚			有配偶			死別・離別			未婚		有配偶		死別・離別	
	平成2年	12年	22年	平成2年	12年	22年	平成2年	12年	22年	平成2年～12年	12年～22年	平成2年～12年	12年～22年	平成2年～12年	12年～22年
男	31.4	32.1	31.9	64.3	62.5	61.1	4.3	5.4	6.9	0.7	-0.2	-1.8	-1.3	1.1	1.5
15～19歳	99.7	99.5	99.7	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	-0.2	0.1	0.2	-0.1	0.0	0.0
20～24	93.6	92.9	94.0	6.3	6.8	5.7	0.1	0.3	0.3	-0.7	1.1	0.5	-1.2	0.1	0.0
25～29	65.1	69.4	71.8	34.3	29.6	27.1	0.7	1.0	1.1	4.3	2.4	-4.6	-2.5	0.3	0.1
30～34	32.8	42.9	47.3	65.7	55.0	50.4	1.5	2.1	2.2	10.1	4.4	-10.7	-4.5	0.6	0.1
35～39	19.1	26.2	35.6	78.5	70.6	60.8	2.4	3.2	3.5	7.1	9.4	-7.9	-9.8	0.8	0.4
40～44	11.8	18.7	28.6	84.8	77.3	66.4	3.5	4.0	5.0	6.9	9.9	-7.4	-11.0	0.5	1.0
45～49	6.8	14.8	22.5	89.0	80.1	71.3	4.3	5.1	6.2	8.1	7.6	-8.9	-8.8	0.8	1.2
50～54	4.4	10.3	17.8	90.9	83.5	75.1	4.8	6.2	7.1	5.9	7.5	-7.4	-8.4	1.4	0.9
55～59	3.0	6.1	14.7	91.7	86.9	77.3	5.3	7.0	8.0	3.1	8.6	-4.8	-9.7	1.7	1.1
60～64	2.0	3.9	10.3	91.8	88.5	80.5	6.2	7.6	9.1	1.9	6.4	-3.3	-7.9	1.4	1.5
65～69	1.4	2.6	6.1	90.5	88.6	83.9	8.1	8.8	10.0	1.2	3.5	-1.8	-4.8	0.7	1.2
70～74	1.0	1.7	3.8	87.7	87.3	84.8	11.3	11.0	11.4	0.6	2.1	-0.4	-2.5	-0.3	0.4
75歳以上	0.8	1.0	1.9	74.1	77.4	78.5	25.1	21.6	19.7	0.2	0.8	3.3	1.1	-3.5	-1.9
女	23.6	23.9	23.3	60.7	58.7	56.9	15.7	17.5	19.8	0.3	-0.5	-2.1	-1.7	1.8	2.3
15～19歳	99.3	99.1	99.4	0.7	0.9	0.6	0.0	0.0	0.1	-0.2	0.3	0.1	-0.3	0.0	0.0
20～24	86.0	88.0	89.6	13.6	11.3	9.5	0.4	0.7	0.8	2.0	1.7	-2.3	-1.8	0.3	0.2
25～29	40.4	54.0	60.3	57.8	43.5	37.1	1.7	2.5	2.6	13.6	6.3	-14.3	-6.5	0.7	0.2
30～34	13.9	26.6	34.5	82.9	69.0	60.8	3.2	4.5	4.7	12.7	7.9	-14.0	-8.1	1.3	0.2
35～39	7.5	13.9	23.1	87.5	79.9	69.8	5.0	6.2	7.1	6.4	9.1	-7.6	-10.1	1.2	1.0
40～44	5.8	8.6	17.4	87.4	83.9	73.2	6.8	7.5	9.4	2.9	8.7	-3.5	-10.7	0.6	1.9
45～49	4.6	6.3	12.6	86.7	84.3	76.4	8.7	9.4	11.1	1.7	6.2	-2.4	-8.0	0.6	1.7
50～54	4.1	5.3	8.7	84.6	83.0	79.0	11.3	11.6	12.3	1.3	3.3	-1.6	-4.0	0.3	0.6
55～59	4.2	4.3	6.5	80.3	81.1	79.1	15.5	14.6	14.4	0.1	2.2	0.7	-2.0	-0.8	-0.2
60～64	4.2	3.9	5.5	73.4	76.4	76.6	22.4	19.7	17.9	-0.4	1.7	3.1	0.1	-2.7	-1.8
65～69	3.4	4.0	4.5	61.5	68.5	71.8	35.1	27.5	23.7	0.5	0.5	7.0	3.3	-7.6	-3.8
70～74	2.3	4.0	4.0	45.5	56.8	62.8	52.2	39.2	33.1	1.7	0.0	11.3	6.0	-13.0	-6.1
75歳以上	1.4	2.5	3.7	21.1	25.8	32.8	77.5	71.7	63.5	1.1	1.2	4.7	7.0	-5.8	-8.2

表4-8 25歳から34歳までの男女，年齢（各歳），配偶関係別人口の割合—全国（平成22年）

年齢	（%）			
	男		女	
	未婚	有配偶	未婚	有配偶
25歳	83.7	15.6	74.6	23.6
26歳	77.9	21.2	67.4	30.4
27歳	71.8	27.1	60.2	37.2
28歳	65.8	32.9	53.2	43.8
29歳	60.3	38.2	47.4	49.2
30歳	55.0	43.2	41.9	54.4
31歳	50.4	47.6	37.5	58.2
32歳	47.0	50.8	34.2	61.1
33歳	44.0	53.5	31.4	63.6
34歳	41.4	56.0	28.7	65.8



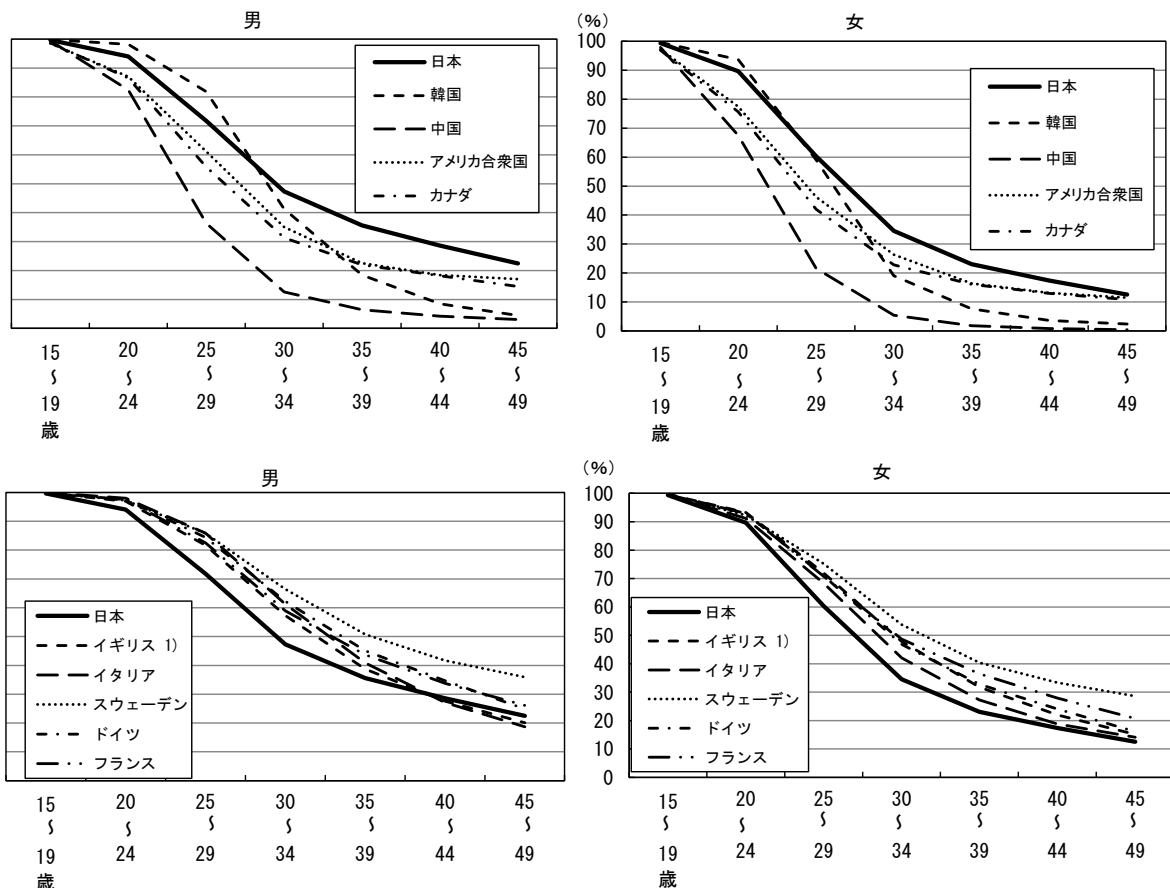
<国際比較>

30歳から49歳までの未婚の割合は、男女共に韓国、中国、アメリカ合衆国及びカナダより高い傾向

我が国の50歳未満の者の未婚の割合を年齢5歳階級別に諸外国と比べると、調査年の相異などから厳密な比較は困難であるものの、男性は、15歳から29歳までの各年齢階級においては、中国、アメリカ合衆国及びカナダに比べ高く、韓国及びヨーロッパ諸国に比べ低くなっている。しかし、年齢が上がるにつれて相対的に高くなり、40歳から49歳までの各年齢階級においては、フランス、ドイツ及びスウェーデンを除く欧米諸国及びアジア諸国よりも高くなっている。

一方、女性は、ヨーロッパ諸国と比べて全ての年齢階級において低く、韓国、中国、アメリカ合衆国及びカナダと比べて、韓国の15歳から24歳までを除いた全ての年齢階級において高い水準となっている。(図4-6, 表4-9)

図4-6 男女、年齢(5歳階級)別人口に占める未婚の割合の国際比較



資料：United Nations, *World Marriage Data 2012* による。

日本は、平成22年国勢調査による。

1) イングランド及びウェールズのみ。

表4-9 男女、年齢（5歳階級）別人口に占める未婚の割合の国際比較

(%)

男女、年齢	日本 (2010)	韓国 (2005)	中国 (2010)	アメリカ 合衆国 (2009)	カナダ (2006)	イギリス 1) (2009)	イタリア (2010)	スウェーデン (2010)	ドイツ (2011)	フランス (2009)
男										
15～19歳	99.7	99.8	99.4	98.5	98.7	99.9	100.0	99.9	100.0	99.9
20～24	94.0	98.2	82.4	87.0	86.5	96.9	98.0	97.3	97.5	97.5
25～29	71.8	81.8	36.3	61.1	55.8	81.7	85.9	85.8	84.4	82.5
30～34	47.3	41.3	12.6	35.0	31.3	57.3	61.2	66.4	62.2	58.9
35～39	35.6	18.4	6.4	22.5	22.0	38.7	40.9	50.8	45.1	43.7
40～44	28.6	8.5	4.2	18.4	18.2	27.6	27.1	41.7	34.7	33.8
45～49	22.5	4.5	3.1	17.0	14.5	20.1	18.7	35.9	24.9	26.1
女										
15～19歳	99.4	99.6	97.9	97.2	96.9	99.6	99.6	99.5	99.7	99.5
20～24	89.6	93.7	67.5	77.4	75.6	93.3	91.2	92.3	92.9	92.9
25～29	60.3	59.1	21.6	46.3	42.0	71.9	68.3	75.2	70.9	70.8
30～34	34.5	19.0	5.4	26.3	22.8	47.8	42.1	53.8	46.8	48.7
35～39	23.1	7.6	1.8	16.4	16.1	31.8	27.3	40.4	32.8	36.5
40～44	17.4	3.6	0.8	13.1	13.0	22.0	18.8	33.4	24.1	27.9
45～49	12.6	2.4	0.4	11.5	10.8	15.1	14.1	28.6	16.1	20.7

資料：United Nations, *World Marriage Data 2012* による。

日本は、平成22年国勢調査による。

1) イングランド及びウェールズのみ。

## 4-2 都道府県の15歳以上人口の配偶関係

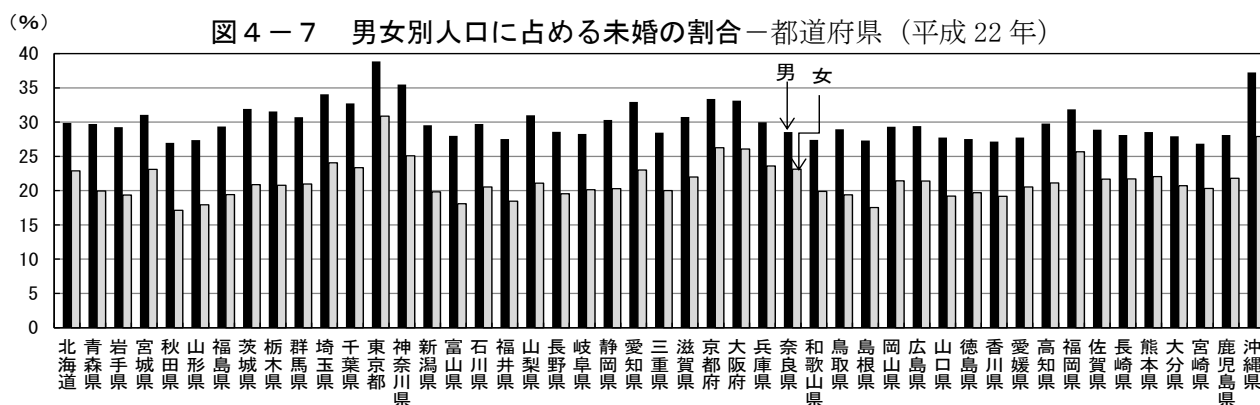
### <配偶関係>

#### 男女共に東京都で高い未婚の割合

都道府県ごとに配偶関係別割合をみると、男性の未婚の割合は、東京都が38.9%と最も高く、次いで沖縄県（37.2%）、神奈川県（35.5%）などとなっており、これらを含む9都府県で全国平均（31.9%）を上回っている。一方、宮崎県が26.8%と最も低く、次いで秋田県（27.0%）、香川県（27.2%）などとなっている。

女性は、東京都が30.9%と最も高く、次いで沖縄県（27.9%）、京都府（26.3%）などとなっており、これらを含む9都府県で全国平均（23.3%）を上回っている。一方、秋田県が17.1%と最も低く、次いで島根県（17.6%）、山形県（18.0%）などとなっている。

（図4-7、表4-10）



#### 女性の有配偶の割合が最も高いのは滋賀県

男性の有配偶の割合は、福井県が65.5%と最も高く、次いで富山県（65.2%）、秋田県（65.1%）などとなっている。一方、沖縄県が55.3%と最も低く、次いで東京都（55.3%）、神奈川県（58.7%）などとなっている。

女性は、滋賀県が60.6%と最も高く、次いで岐阜県（60.1%）、三重県（60.0%）などとなっている。一方、高知県が52.5%と最も低く、次いで福岡県（52.7%）、沖縄県（52.8%）などとなっている。（図4-8、表4-10）

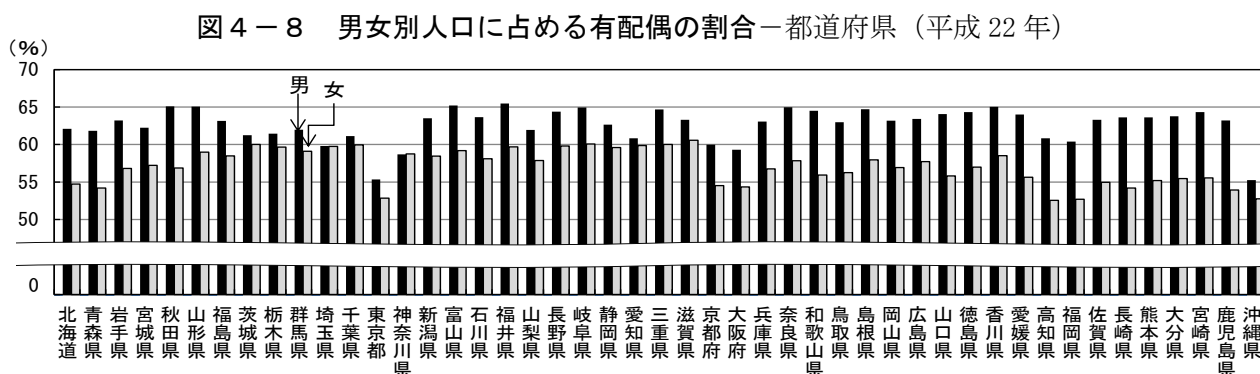


表4-10 男女、配偶関係別15歳以上人口の割合—都道府県（平成22年）

（%）

都道府県	男				女			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
全 国	31.9	61.1	3.1	3.8	23.3	56.9	13.9	5.9
北 海 道	29.9	62.1	3.4	4.6	22.9	54.7	15.0	7.4
青 森 県	29.7	61.8	3.6	4.8	20.0	54.2	18.4	7.5
岩 手 県	29.3	63.2	3.7	3.8	19.4	56.8	18.3	5.6
宮 城 県	31.1	62.2	3.1	3.6	23.1	57.2	14.1	5.6
秋 田 県	27.0	65.1	3.9	4.0	17.1	56.9	20.4	5.6
山 形 県	27.4	65.1	3.9	3.6	18.0	59.0	18.1	5.0
福 島 県	29.4	63.1	3.7	3.8	19.4	58.5	16.3	5.8
茨 城 県	31.9	61.3	3.3	3.5	20.9	60.0	13.9	5.2
栃 木 県	31.5	61.5	3.4	3.6	20.8	59.7	14.1	5.4
群 馬 県	30.7	62.0	3.6	3.7	21.0	59.1	14.2	5.8
埼 玉 県	34.1	59.8	2.8	3.3	24.1	59.7	11.1	5.0
千 葉 県	32.7	61.1	2.8	3.4	23.3	59.9	11.7	5.0
東 京 都	38.9	55.3	2.4	3.4	30.9	52.8	10.9	5.4
神 奈 川 県	35.5	58.7	2.5	3.3	25.1	58.8	11.0	5.1
新 潟 県	29.6	63.5	3.6	3.3	19.8	58.5	16.9	4.8
富 山 県	28.0	65.2	3.4	3.4	18.1	59.2	17.9	4.8
石 川 県	29.7	63.6	3.1	3.6	20.6	58.1	15.9	5.4
福 井 県	27.5	65.5	3.4	3.5	18.5	59.7	16.6	5.3
山 梨 県	31.0	62.0	3.4	3.6	21.1	57.9	15.6	5.4
長 野 県	28.6	64.4	3.6	3.4	19.5	59.8	15.5	5.2
岐 阜 県	28.3	65.0	3.5	3.3	20.1	60.1	14.9	4.9
静 岡 県	30.3	62.7	3.1	3.9	20.3	59.6	14.3	5.8
愛 知 県	32.9	60.8	2.7	3.5	23.0	59.9	11.9	5.2
三 重 県	28.5	64.7	3.3	3.6	20.0	60.0	14.8	5.2
滋 賀 県	30.7	63.3	2.8	3.2	22.0	60.6	12.9	4.5
京 都 府	33.4	60.0	3.0	3.7	26.3	54.5	13.3	5.9
大 阪 府	33.2	59.3	3.0	4.6	26.1	54.4	12.6	6.9
兵 庫 県	30.0	63.1	3.2	3.8	23.6	56.8	13.8	5.8
奈 良 県	28.6	65.0	3.2	3.2	23.1	57.9	13.6	5.4
和 歌 山 県	27.4	64.5	3.8	4.3	19.9	55.9	17.4	6.7
鳥 取 県	29.0	63.0	3.7	4.3	19.4	56.3	18.0	6.3
島 根 県	27.3	64.7	3.9	4.0	17.6	57.9	19.6	4.9
岡 山 県	29.3	63.2	3.4	4.1	21.4	56.9	15.8	5.9
広 島 県	29.4	63.4	3.2	4.0	21.4	57.7	15.2	5.6
山 口 県	27.8	64.1	3.7	4.5	19.2	55.8	18.5	6.5
徳 島 県	27.6	64.3	4.0	4.1	19.7	57.0	17.4	5.9
香 川 県	27.2	65.0	3.7	4.1	19.2	58.5	16.3	6.0
愛 媛 県	27.7	64.0	3.7	4.6	20.5	55.6	17.0	6.9
高 知 県	29.8	60.8	3.8	5.6	21.1	52.5	18.4	7.9
福 岡 県	31.9	60.4	3.0	4.7	25.7	52.7	14.2	7.4
佐 賀 県	28.9	63.3	3.6	4.2	21.7	55.0	17.0	6.4
長 崎 県	28.1	63.6	3.6	4.7	21.7	54.2	17.3	6.8
熊 本 県	28.6	63.6	3.4	4.4	22.1	55.2	16.0	6.7
大 分 県	27.9	63.8	3.7	4.6	20.7	55.5	17.1	6.7
宮 崎 県	26.8	64.3	3.7	5.1	20.3	55.6	16.5	7.7
鹿 児 島 県	28.1	63.2	3.9	4.7	21.8	53.9	17.5	6.8
沖 縄 県	37.2	55.3	2.3	5.2	27.9	52.8	10.6	8.7

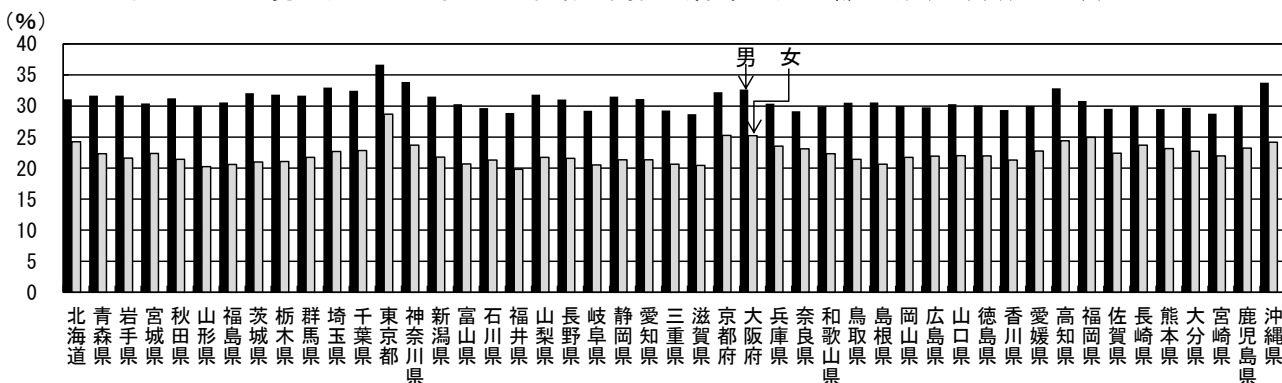
### 年齢構成を標準化した未婚の割合でみても、男女共に東京都が最も高い

配偶関係別割合は、前述したように年齢構成の影響を受けるので、各都道府県の年齢構成が全国の年齢構成と同じと仮定して標準化した各都道府県の配偶関係別割合をしてみる。

標準化した未婚の割合は、男性は東京都が36.7%と最も高く、次いで神奈川県(33.9%)、沖縄県(33.7%)などとなっている。一方、滋賀県が28.7%と最も低く、次いで宮崎県(28.8%)、福井県(28.9%)などとなっている。女性も東京都が28.7%と最も高く、次いで京都府(25.3%)、大阪府(25.2%)などとなっている。一方、福井県が19.8%と最も低く、次いで山形県(20.2%)、滋賀県(20.4%)となっている。

(図4-9, 表4-11)

図4-9 男女別人口に占める未婚の割合(標準化) - 都道府県(平成22年)



### 年齢構成を標準化した有配偶の割合でみると、男女共に滋賀県が最も高い

標準化した有配偶の割合は、男性は滋賀県が65.1%と最も高く、次いで奈良県(64.6%)、福井県(64.4%)などとなっている。一方、東京都が57.0%と最も低く、次いで沖縄県(58.1%)、高知県(58.5%)などとなっている。女性も滋賀県が61.0%と最も高く、次いで岐阜県(60.2%)、愛知県(60.2%)などとなっている。一方、高知県が52.5%と最も低く、次いで福岡県(53.1%)、東京都(53.3%)などとなっている。

(図4-10, 表4-11)

図4-10 男女別人口に占める有配偶の割合(標準化) - 都道府県(平成22年)

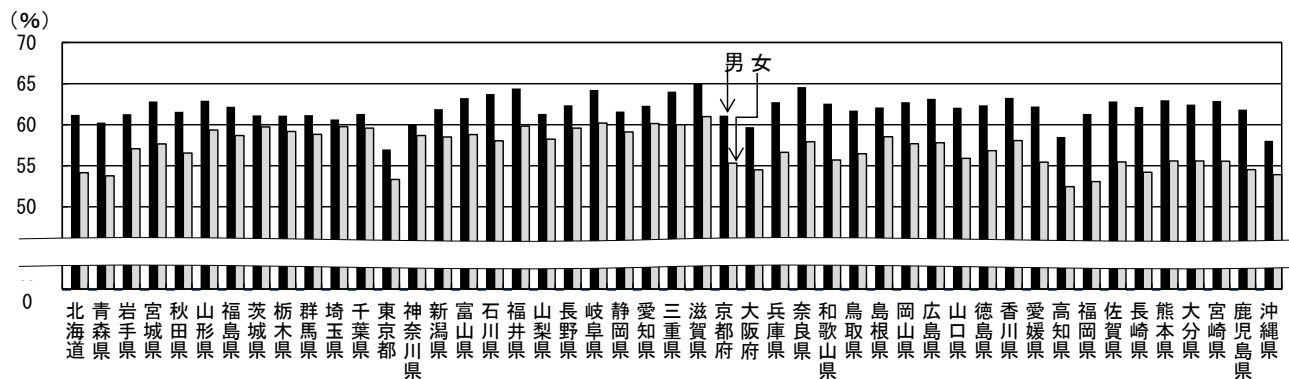


表4-11 男女、配偶関係別15歳以上人口の割合（標準化）—都道府県（平成22年）  
（%）

都道府県	男				女			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
全 国	31.9	61.1	3.1	3.8	23.3	56.9	13.9	5.9
北 海 道	31.1	61.2	3.2	4.5	24.2	54.1	14.3	7.3
青 森 県	31.7	60.3	3.4	4.7	22.3	53.8	16.4	7.5
岩 手 県	31.7	61.3	3.3	3.7	21.6	57.1	15.6	5.7
宮 城 県	30.4	62.8	3.1	3.6	22.4	57.7	14.3	5.7
秋 田 県	31.3	61.6	3.3	3.9	21.4	56.6	16.3	5.8
山 形 県	30.0	62.9	3.4	3.6	20.2	59.4	15.2	5.2
福 島 県	30.6	62.2	3.5	3.8	20.6	58.7	14.8	5.9
茨 城 県	32.1	61.1	3.4	3.5	21.0	59.7	14.1	5.2
栃 木 県	31.8	61.1	3.5	3.6	21.1	59.2	14.4	5.4
群 馬 県	31.7	61.2	3.5	3.6	21.7	58.8	13.7	5.7
埼 玉 県	33.0	60.6	3.0	3.4	22.7	59.8	12.5	5.0
千 葉 県	32.5	61.3	2.8	3.4	22.8	59.6	12.6	5.0
東 京 都	36.7	57.0	2.7	3.6	28.7	53.3	12.3	5.7
神 奈 川 県	33.9	60.0	2.8	3.4	23.7	58.7	12.5	5.2
新 潟 県	31.5	61.9	3.3	3.3	21.8	58.5	14.8	4.9
富 山 県	30.3	63.2	3.1	3.4	20.7	58.8	15.7	4.8
石 川 県	29.7	63.7	3.0	3.6	21.3	58.0	15.2	5.4
福 井 県	28.9	64.4	3.2	3.5	19.8	59.8	15.1	5.3
山 梨 県	31.8	61.3	3.3	3.6	21.7	58.3	14.5	5.5
長 野 県	31.1	62.4	3.2	3.4	21.6	59.6	13.6	5.2
岐 阜 県	29.2	64.2	3.3	3.3	20.5	60.2	14.3	4.9
静 岡 県	31.5	61.6	3.0	3.8	21.3	59.1	13.8	5.8
愛 知 県	31.1	62.3	3.0	3.6	21.4	60.2	13.3	5.2
三 重 県	29.3	64.0	3.1	3.6	20.6	60.0	14.2	5.2
滋 賀 県	28.7	65.1	3.0	3.3	20.4	61.0	14.0	4.6
京 都 府	32.2	61.1	2.9	3.8	25.3	55.3	13.4	6.0
大 阪 府	32.7	59.7	3.0	4.6	25.2	54.5	13.2	7.0
兵 庫 県	30.4	62.7	3.1	3.8	23.5	56.7	14.0	5.8
奈 良 県	29.2	64.6	3.0	3.3	23.1	57.9	13.6	5.4
和 歌 山 県	29.9	62.6	3.3	4.3	22.3	55.7	15.2	6.8
鳥 取 県	30.6	61.7	3.4	4.3	21.4	56.5	15.7	6.4
島 根 県	30.6	62.1	3.3	4.0	20.6	58.5	15.7	5.1
岡 山 県	30.0	62.8	3.1	4.2	21.7	57.7	14.6	6.0
広 島 県	29.8	63.2	3.1	4.0	21.9	57.8	14.6	5.7
山 口 県	30.3	62.1	3.2	4.4	22.0	55.9	15.5	6.6
徳 島 県	30.1	62.4	3.5	4.0	22.0	56.8	15.3	5.9
香 川 県	29.3	63.3	3.4	4.0	21.3	58.1	14.6	6.0
愛 媛 県	30.0	62.2	3.3	4.5	22.8	55.5	14.9	6.9
高 知 県	32.8	58.5	3.2	5.5	24.4	52.5	15.2	7.9
福 岡 県	30.8	61.3	3.1	4.8	24.9	53.1	14.5	7.5
佐 賀 県	29.5	62.8	3.5	4.2	22.4	55.5	15.6	6.5
長 崎 県	30.0	62.2	3.3	4.5	23.7	54.2	15.3	6.8
熊 本 県	29.5	63.0	3.1	4.4	23.1	55.6	14.4	6.8
大 分 県	29.7	62.4	3.3	4.6	22.7	55.6	14.9	6.8
宮 崎 県	28.8	62.9	3.3	5.0	22.0	55.6	14.7	7.8
鹿 児 島 県	30.1	61.8	3.5	4.6	23.2	54.5	15.3	6.9
沖 縄 県	33.7	58.1	2.9	5.4	24.2	53.9	13.0	8.9

（注）標準化割合は、全国の男女、年齢（5歳階級）別15歳以上人口を標準人口として計算した。  
すなわち、15歳以上人口の年齢構成が仮に全国の年齢構成と同じであったとした場合に、  
配偶関係別割合がどうなるかを計算したものである。  
標準化した配偶関係別割合  $m'^k$  は次式によって求められる。

$$m'^k = \frac{\sum_{i=1}^n m_i^k \times P_i}{\sum_{i=1}^n P_i}$$

$m_i^k$  : 都道府県  $k$  における年齢階級  $i$  の配偶関係別割合

$P_i$  : 全国における年齢階級  $i$  の人口

＜20歳から39歳までの未婚の割合＞

20歳から39歳までの未婚の割合は大都市を含む都府県とその周囲で高い傾向

20歳から39歳までの未婚の割合を都道府県別にみると、男性の20～29歳では、東京都が87.3%と最も高く、次いで京都府（86.4%）、神奈川県（85.5%）などとなっている。一方、宮崎県が74.6%と最も低く、次いで鹿児島県（75.9%）、愛媛県（76.8%）などとなっている。また、男性の30～39歳では、東京都が47.5%と最も高く、次いで神奈川県（43.5%）、埼玉県（43.5%）などとなっており、8都府県で全国平均（41.0%）を上回っている。一方、最も低いのは宮崎県の34.9%で、次いで鹿児島県（35.7%）、滋賀県（36.0%）などとなっている。

女性の20～29歳では、東京都が80.6%と最も高く、次いで京都府（79.8%）、奈良県（78.8%）などとなっている。一方、最も低いのは福島県の66.6%で、次いで宮崎県（67.7%）、岩手県（68.4%）などとなっている。また、女性の30～39歳では、東京都が36.1%と最も高く、次いで京都府（31.6%）、福岡県（31.4%）などとなっており、9都道府県で全国平均（28.3%）を上回っている。一方、最も低いのは福井県の22.0%で、次いで山形県（23.0%）、滋賀県（23.0%）などとなっている。

このように、20歳から39歳まででは男女共に大都市を含む都府県とその周囲で未婚の割合が高い傾向にあることが分かる。

なお、30～39歳の未婚の割合は、東京都及び沖縄県の男性を除いて、男女共に全ての都道府県で平成12年から22年まで一貫して上昇している。

（図4-11、表4-12）

図4-11 男女別 30～39歳人口に占める未婚の割合—都道府県（平成22年）

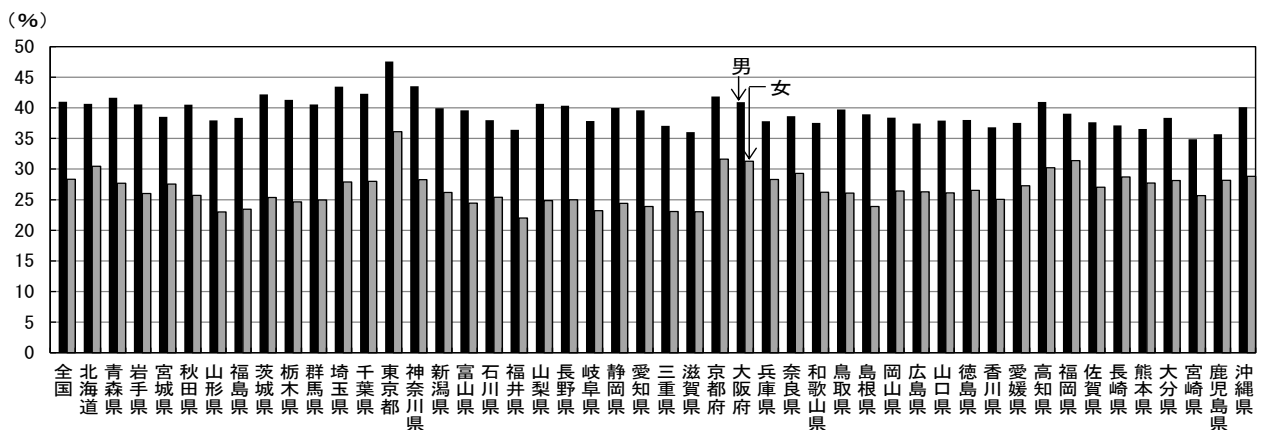


表4-12 20歳から39歳までの男女、年齢（10歳階級）別人口に占める未婚の割合  
の推移—都道府県（平成12年～22年）

(%)

都道府県	平成12年				17年				22年			
	男		女		男		女		男		女	
	20～29歳	30～39	20～29歳	30～39	20～29歳	30～39	20～29歳	30～39	20～29歳	30～39	20～29歳	30～39
全 国	80.3	35.0	69.6	20.5	81.8	39.7	73.0	25.8	82.3	41.0	74.1	28.3
北海道	77.4	31.3	68.1	22.5	79.8	38.0	71.4	27.9	80.9	40.7	73.1	30.5
青森県	76.6	33.1	65.2	18.2	78.5	38.2	68.2	23.7	80.3	41.7	70.3	27.7
岩手県	75.5	35.6	64.3	18.3	75.9	39.0	66.0	23.3	77.7	40.6	68.4	26.0
宮城県	79.2	34.1	69.4	19.7	79.7	38.5	71.7	25.3	80.5	38.5	73.1	27.6
秋田県	77.2	33.5	65.5	16.8	77.5	38.1	67.6	22.3	79.8	40.5	69.9	25.7
山形県	76.9	32.4	64.4	14.7	76.2	36.4	65.9	20.0	78.6	37.9	68.8	23.0
福島県	74.6	33.0	62.5	16.1	75.6	37.2	64.7	21.0	77.2	38.3	66.6	23.4
茨城県	78.6	35.1	67.1	16.0	80.2	40.3	70.2	22.3	81.5	42.2	71.3	25.4
栃木県	77.7	34.4	65.6	16.1	79.0	39.6	68.0	21.7	80.5	41.3	70.1	24.6
群馬県	76.8	33.8	65.2	17.5	78.5	38.6	68.4	22.5	80.6	40.5	70.9	25.0
埼玉県	82.0	35.9	70.3	19.1	83.6	41.6	73.7	25.2	84.2	43.5	75.1	27.9
千葉県	82.6	36.6	70.6	19.8	84.0	41.0	74.1	25.3	83.5	42.3	74.7	28.0
東京都	87.6	45.5	78.2	30.8	88.5	48.1	81.0	34.9	87.3	47.5	80.6	36.1
神奈川県	83.8	38.6	71.1	20.7	85.0	42.5	74.7	25.7	85.5	43.5	76.4	28.3
新潟県	77.7	34.4	66.6	17.8	79.2	38.9	69.9	23.2	81.2	39.9	72.2	26.2
富山県	77.1	31.3	65.3	15.5	79.5	37.3	69.2	21.4	81.7	39.6	72.0	24.4
石川県	78.9	30.4	67.0	16.1	81.4	36.3	72.0	22.4	82.5	38.0	73.3	25.4
福井県	77.8	29.2	65.1	12.7	79.0	34.7	69.2	18.6	80.8	36.4	71.0	22.0
山梨県	80.3	34.9	68.7	16.9	81.8	39.4	71.8	22.2	83.6	40.7	74.5	24.8
長野県	78.6	34.9	67.0	17.8	79.2	39.2	69.1	22.8	81.1	40.3	71.8	25.0
岐阜県	78.4	29.9	67.9	15.4	79.9	35.7	70.6	20.7	81.2	37.8	71.7	23.2
静岡県	78.0	34.9	65.8	18.1	78.8	39.3	67.9	22.8	80.1	40.0	69.3	24.4
愛知県	79.7	33.0	66.6	16.6	81.9	38.5	70.7	21.6	82.0	39.6	71.5	23.9
三重県	76.4	29.5	64.8	15.0	78.2	35.5	68.5	20.5	79.9	37.1	70.3	23.1
滋賀県	79.5	29.0	67.3	13.9	81.3	34.7	70.9	19.7	82.6	36.0	72.8	23.0
京都府	83.6	34.2	74.7	22.7	85.7	39.7	78.8	28.6	86.4	41.9	79.8	31.6
大阪府	80.2	34.4	70.5	23.3	82.8	39.2	75.2	28.3	82.8	40.9	76.3	31.3
兵庫県	78.5	30.9	69.5	20.2	81.2	35.7	74.0	25.2	81.6	37.8	75.3	28.3
奈良県	81.4	28.6	73.1	18.5	83.9	35.8	77.6	25.2	84.4	38.7	78.8	29.3
和歌山県	75.2	28.8	65.5	17.6	77.7	34.8	69.8	23.0	79.9	37.5	72.0	26.2
鳥取県	76.7	33.4	65.3	16.7	78.5	37.9	68.3	22.6	79.3	39.7	69.6	26.1
島根県	75.7	32.3	64.3	16.0	76.3	36.8	66.9	21.2	77.3	38.9	68.7	23.9
岡山県	76.2	30.4	66.7	17.8	78.9	36.3	70.9	23.7	80.0	38.4	72.3	26.4
広島県	77.4	31.2	67.1	18.7	79.2	36.4	70.6	24.1	79.1	37.4	70.9	26.3
山口県	76.0	31.4	66.0	19.0	78.0	36.7	69.6	23.5	78.4	37.9	69.6	26.1
徳島県	75.9	29.9	66.8	17.7	78.9	35.9	71.0	24.1	80.0	38.0	71.8	26.5
香川県	74.7	30.0	64.2	16.7	76.6	35.4	67.6	22.4	77.6	36.8	69.3	25.0
愛媛県	75.2	30.8	66.5	19.8	76.4	36.3	69.1	24.9	76.8	37.6	69.7	27.3
高知県	76.5	33.8	67.5	21.7	78.7	39.3	71.3	27.7	80.5	40.9	72.7	30.2
福岡県	80.4	33.1	72.4	23.2	82.0	38.1	75.6	28.5	81.2	39.0	75.3	31.4
佐賀県	76.8	31.6	68.6	19.0	77.1	36.7	70.4	24.3	77.8	37.6	71.4	27.0
長崎県	75.7	31.2	68.5	20.9	77.0	35.4	71.2	25.8	77.2	37.1	71.6	28.7
熊本県	77.3	30.1	68.7	20.1	77.7	35.1	70.6	25.2	77.7	36.5	71.0	27.7
大分県	77.0	30.5	68.5	20.0	78.3	36.3	71.4	25.6	78.9	38.4	71.3	28.1
宮崎県	74.4	29.5	65.7	19.0	75.2	34.2	68.0	24.1	74.6	34.9	67.7	25.7
鹿児島県	76.9	31.0	69.5	20.4	76.6	35.4	70.7	25.8	75.9	35.7	70.5	28.2
沖縄県	76.7	36.3	66.6	22.7	77.1	40.2	68.6	27.7	77.6	40.1	70.3	28.8



## トピックス ～時系列・地域間比較における指標の標準化について～

### ●指標の標準化とは

ある指標について時系列比較や地域間比較を行う際に、当該指標に影響を与える他の要因を取り除く手法である。

### ●標準化の意義

未婚の割合や労働力率などは、年齢によって大きく影響を受ける指標である。この結果、単純に指標を比較すると、晩婚化が生じているにもかかわらず（高齢化による影響を伴い）未婚の割合が低下するといった現象が起こる場合もある。

若年層では未婚の割合が高く、年齢が上がるにつれて低くなることから、高齢化が進めば全体に占める高齢者の割合（未婚の割合が低い者）が高くなり、若年層において晩婚化が生じている場合であっても未婚の割合は低下する場合がある（平成17年から22年までで、未婚の割合は低下。）。

分析の視点の一つとして、このような年齢構成による影響を取り除いた指標を算出することが考えられる。

### ●標準化の計算例

平成22年国勢調査で65歳以上人口の割合が最も高い群馬県南牧村と、島しょ部を除いて最も低い千葉県浦安市のデータを用いる。

年 齢	全 国	群 馬 県 南 牧 村			千 葉 県 浦 安 市		
	人口 1) (人)	人口 1) (人)	未婚者数 (人)	未婚の割 合	人口 1) (人)	未婚者数 (人)	未婚の割 合
総数 (15歳以上)	110,277,485	2,320	382	16.5	137,692	44,970	33.4
15～19 歳	6,063,357	47	47	100.0	7,682	7,632	99.8
20～24	6,426,433	52	50	96.2	10,679	9,873	95.3
25～29	7,293,701	45	37	82.2	13,585	9,717	74.3
30～34	8,341,497	45	33	73.3	14,117	6,018	43.9
35～39	9,786,349	61	28	45.9	16,760	4,418	26.9
40～44	8,741,865	74	33	44.6	15,798	2,756	17.8
45～49	8,033,116	98	38	38.8	12,015	1,596	13.5
50～54	7,644,499	135	27	20.1	8,690	880	10.3
55～59	8,663,734	184	31	16.8	8,851	795	9.1
60～64	10,037,249	192	26	13.5	10,225	587	5.8
65歳以上	29,245,685	1,387	32	2.3	19,290	698	3.7

1) 配偶関係「不詳」を含む。

表を見ると、65歳以上を除く全ての年齢階級で南牧村の未婚の割合が高くなっている。しかしながら、年齢構成が異なるため、南牧村の未婚の割合は16.5%、浦安市の未婚の割合は33.4%となり、浦安市の方が未婚の割合は高くなっている。

極端に年齢構成の異なるこれらを比較するため、次の①～③の手順で標準化を行う。

① 全国の年齢階級別人口に、それぞれの年齢階級別未婚の割合を乗じて、値を算出する。

年 齢	群 馬 県 南 牧 村				千 葉 県 浦 安 市		
	全 国 人口 1) (人)	未婚の割 合	計 算 式	①結果 (人)	未婚の割 合	計 算 式	①結果 (人)
総数 (15歳以上)	110,277,485						
15～19歳	6,063,357	100.0	$= (6,063,357 * 100.0) / 100$	6,063,357	99.8	$= (6,063,357 * 99.8) / 100$	6,051,463
20～24	6,426,433	96.2	$= (6,426,433 * 96.2) / 100$	6,179,263	95.3	⋮	6,123,159
25～29	7,293,701	82.2	$= (7,293,701 * 82.2) / 100$	5,997,043	74.3		5,419,245
30～34	8,341,497	73.3	⋮	6,117,098	43.9		3,658,029
35～39	9,786,349	45.9	⋮	4,492,095	26.9		2,634,901
40～44	8,741,865	44.6		3,898,399	17.8		1,554,862
45～49	8,033,116	38.8		3,114,882	13.5		1,086,421
50～54	7,644,499	20.1		1,540,310	10.3		786,250
55～59	8,663,734	16.8		1,459,651	9.1		788,514
60～64	10,037,249	13.5		1,359,211	5.8		583,758
65歳以上	29,245,685	2.3		678,161	3.7		1,087,386

1) 配偶関係「不詳」を含む。

② ①で求めた値を足し上げ、合計を算出する。

年 齢	全 国		群 馬 県 南 牧 村		千 葉 県 浦 安 市	
	人口 1) (人)	未婚の割合 (%)	①結果 (人)	未婚の割合 (%)	①結果 (人)	
総数 (15歳以上)	110,277,485	37.1	40,899,468	27.0	29,773,987	
15～19歳	6,063,357	100.0	6,063,357	99.8	6,051,463	
20～24	6,426,433	96.2	6,179,263	95.3	6,123,159	
25～29	7,293,701	82.2	5,997,043	74.3	5,419,245	
30～34	8,341,497	73.3	6,117,098	43.9	3,658,029	
35～39	9,786,349	45.9	4,492,095	26.9	2,634,901	
40～44	8,741,865	44.6	3,898,399	17.8	1,554,862	
45～49	8,033,116	38.8	3,114,882	13.5	1,086,421	
50～54	7,644,499	20.1	1,540,310	10.3	786,250	
55～59	8,663,734	16.8	1,459,651	9.1	788,514	
60～64	10,037,249	13.5	1,359,211	5.8	583,758	
65歳以上	29,245,685	2.3	678,161	3.7	1,087,386	

1) 配偶関係「不詳」を含む。

③ ②で求めた値を全国の15歳以上人口で割ることにより、標準化した未婚の割合を算出できる。

南牧村：40,899,468（人）÷ 110,277,485（人）× 100 = 37.1（%）

浦安市：29,773,987（人）÷ 110,277,485（人）× 100 = 27.0（%）

全国の年齢構成で標準化した未婚の割合は、南牧村では37.1%、浦安市では27.0%となった。年齢構成の影響を取り除いて未婚の割合を比較すると、浦安市より南牧村の方が高いことが分かる。このように、指標の増減や高低について分析する際には、その要因に、年齢のような外的な要因が含まれていないか、またその要因を取り除いた場合にどうなるかという分析も必要な場合がある。